

小倉薬剤師会 11月学術研修会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう
お願い申し上げます。

謹白

■事前申し込みの方のみご参加可能ですので、参加ご希望の際は、以下URLより **11月11日(金)** 厳守にてお申込みください。(お申込みは会員に限ります)

■視聴用URLの発行について

開催日前に、以下申込みURLよりご登録いただいたメールアドレスへ、視聴用URLをお知らせします。

※開催日前に視聴用URLが届かない場合は事務局まで(093-941-3518) お問い合わせください。

■単位申請について(PECSに変更)

①ご参加いただいた会員様の単位取得は、以下の申込みURLよりご入力いただいた「薬剤師番号」にて申請いたしますのでご入力の際は誤りのないようにご注意ください。※申請後の修正はできかねますのでご了承ください。

②単位取得については入退室が記録されたZoomからの「受講ログ」を研修センターに提出となっております。講演開始時19時前にご入室されたログ記録、および20:30までご聴講いただいたログ記録にて認められます。※ログ記録が1.5時間に満たない場合はいかなる理由でも単位取得の対象となりません。

記

【日時】 2022年 11月 22日(火) 18:45~20:30

【開催方法】 WEB配信 (WEB会議ツールを用いたオンライン研修) 研修会

【情報提供】 18:45~19:00

『ツムラ医療用漢方製剤紹介』 株式会社ツムラ

【PS】 1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1・2、②-5-9

2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) ②-83、143-144

【特別講演】 19:00~20:30

座長 学術委員 鈴江 晃平

『急性期病院整形外科診療で何故、漢方薬を使うのでしょうか？』
～患者さんが教えてくれたこと～

演者 九州労災病院 勤労者骨・関節疾患治療研究センター センター長

今村 寿宏 先生

<特別講演要旨>

日本における急速な高齢化は、疾病構造の変化、要介護者数の急増、また核家族化が進み、如何に健康寿命を延伸することが重要な課題である。加齢に伴い変形性関節症や脊椎症といった運動器の痛みで整形外科受診、手術に至ることも少なくなく、私自身、医師になった頃に比べると80歳以上の脊椎手術が、ごく当たり前になってきている。加齢とともに生活習慣病治療薬が増え、さらに疼痛治療において鎮痛薬などが加わると益々、薬剤が増える。薬物相互作用も考慮せねばならない。患者さんが、いつまでも元気で過して頂くには西洋薬だけでは私自身、限界を感じた。周術期に免疫が低下すると誤嚥性肺炎、創部感染のリスクがあるので、あらかじめ術前から対策を講じる必要がある。本講演では、急性期病院で脊椎外科、いたみ治療、骨粗鬆症を担当している私が実臨床で患者さんから feedback して頂いた事を先生方と discussion できれば幸いである。

共催：小倉薬剤師会
株式会社ツムラ

11月22日（火）学術研修会申込書

↓以下の研修会申込みURLよりお申込みください↓

申込み締切：11月11日（金）迄

<https://forms.gle/5dmDtDjsZwvWWvbBA>

■PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録はお済みですか？■

PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録が必須となりますので、単位付与を希望される場合は、必ずPECSへの登録完了後に、参加申し込みしてください。

日本薬剤師研修センターHP <https://bitly/3vb8RU9>（薬剤師用入口より）

登録完了していない場合や登録内容に誤りがあった場合は、単位が正しく発行されません。免許番号に「中」や「外」が含まれている場合は、その文字も含めてご入力ください。登録内容に誤りがあった場合の単位付与に関して、本会は責任を負いかねますのでご了承ください。

※当講演会で取得したご施設名・ご芳名は、共催製薬会社による医薬品および医学・薬学に関する情報提供、ならびに参加者に関するご確認のために利用させていただくことがございます。また、当該情報は、共催製薬会社から小倉薬剤師会に開示させていただきます。